

平成31年(2019年)2月14日 (木曜日)

三島駅南東街区
再開発で説明会



市民説明会に集まった住民からの質問に答える市の担当者
や豊岡市長(右から2人目)＝三島市民文化会館

「発展の貴重な機会」 「見通し甘い」など意見

会館で開いた。これまで市民から寄せられた意見やアンケート結果を報告し、2020年度中を見込む都市計画決定や、25年度中の竣工を目指すその後のスケジュール方針について市が説明した。早ければ2月下旬から、事業区域内の2方所で地盤調査を行うことも明らかにした。

同地区1・3号を広域健康医療拠点として整備する計画で、総事業費は220億円。実質的な市の負担を61億円と見込み、マンシヨンや商業棟、市営駐車場などを整備する方針。今回の説明会は中間

三島市は12日夜、三島駅南口東街区の再開発事業をテーマにした市民説明会を市民文化

市民文化会館で開いた。これまで市民から寄せられた意見やアンケート結果を報告し、2020年度中を見込む都市計画決定や、25年度中の竣工を目指すその後のスケジュール方針について市が説明した。早ければ2月下旬から、事業区域内の2方所で地盤調査を行うことも明らかにした。

報告的な位置付けで開いた。集まった市民186人に対し、豊岡武土市長は「三島の今後の持続的な発展に向けて欠くことのできない重要な事業。引き続き完成を目指して全力で取り組んでいく」とあいさつした。市民からは「税収入や施設入居の見通しが甘いのではないか」といった反対意見と、「計画推進は三島の発展のために貴重な機会となる」など賛成意見の両論があり、閉会前には「市民が質問する時間が短すぎる」との声が一部から上がり紛糾する場面もあった。